

## 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

作成日 平成20年7月30日

事業所番号	2770108922	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	株式会社アスキーネット		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	『あんしん日置荘』の里	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	堺市東区日置荘原寺町402番地1 電話072-288-5123	評価調査日	平成20年7月25日
		評価確定日	平成20年7月31日

## 【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18人
職員数	21人	常勤	3人
		非常勤	15人
		常勤換算	13人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造 2階建ての(1階～2階部分)
-------	-----------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000円	その他の経費(月額)	30,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 300,000円 償却あり 3年			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり 45,000円			

## (4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	16名	男性	6名	女性	10名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 76才	最低	61才	最高	90才
(5) 協力医療機関名	ますたにクリニック 医療法人 暁美会 田中病院				

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

当ホームの管理者は、平成20年2月1日からの新任で、僅か5ヶ月で外部評価(初回)の実施となった。過去の2年間で3人の管理者が交代しているが、現在は内部組織も安定し、充実した介護が進められている。特に管理者は運営する法人のサポートのもとで利用者に、経営理念である家庭的、自立的、尊厳性のある日々を送って頂けるよう努力している。介護に当たる職員も漸く安定し、勤続しつつある

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初評価です
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回は管理者が中心となって自己評価に取り組まざるを得ず、半ば出来た自己評価の原案を基にして、スタッフが検討を行ったようである。その結果、介護の現状の反省と極め細やかな質的改善への方策として、チーム活動による情報把握への具体化計画に方向を見出し、活動している
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	平成20年度の運営推進会議は、4月30日に第1回を開催、第2回は6月18日に開催した。以降は2ヶ月毎の開催を予定し、利用者のケアの向上と、地域の高齢者の福祉向上に少しでも協力したいと願っている
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	利用者との日頃の対話の中で、苦情や不満を把握するように努力している。とりわけ利用者の過半数が、ご家族や身寄りのない方なので、運営推進会議等で介護福祉関係の現状等のご意見も参考にしながら、今後反映させる意向である
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	今年度から自治会にホームも一員として加入し、月一度の「いきいきサロン」への定期的な参加をしている。これからも、各種行事への参加を呼び掛けてもらっているので、さまざまな課題に十分に留意しながら、進めようとしている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	3年目の新発足を、ホームの経営理念を基として、日常業務の再検討を行いながら進めている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念を玄関にも掲げ、事務室にも掲示して、職員全員の行動の基本とするよう、繰り返し訴えている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地元の自治会にホームも一員として加入し、毎月の定例会議にも参加しているが、自治会の方々から、各種行事の参加を呼びかけられている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価の意義を理解し、積極的に取り組んでいるが、職員も協力して、具体的な改善を進めようとしている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、平成20年度第1回を4月30日に開催、ホームの活動状況の説明、質疑等を実施し、第2回は6月18日開催、その後も、2ヶ月毎の開催を予定している	○	高齢化社会で喜んで頂ける存在となるよう活動して欲しい
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	堺市 東区役所の生活援護課、と介護保険課とは連絡を持っている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時には、職員が前向きに面接を心がけ、利用者の情報提供を行っている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱を玄関に設置しているが、更に、ご家族の来訪時には職員が応対して、ご意見、ご不満に答えるように努めている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>○</p> <p>職員の実務上の研修課題は、日々の介護の中にあり、利用者の体調の変化もありますから、常に、利用者に合わせて介護を工夫して欲しい</p>
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>利用者本人のアセスメント、馴染みのあること等、少しずつ進めている</p>
--	----	----	---	--	---

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>職員には常に「相手の立場」に立って考えるように指導している</p>
--	----	----	---	--	--------------------------------------

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>利用者との対話交流によって、出来る限り情報の把握の努力をしている</p>
--	----	----	--	--	---

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		<p>○</p> <p>利用者の意向、体調、生活歴、性格等の情報を、各職員が日時を重ねてシート化し、ケアの基とし、これをチームワークで作成するよう目指しているが是非、やり遂げて欲しい</p>
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月のケアカンファレンスで、一人ひとりの現状把握に努力しているが、更なる向上を目指している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の、その都度の要望に沿えるよう柔軟な対応を行っている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	協力医師の定期的な往診を頂いているが、利用者の以前からのかかりつけ医師への受診もしてもらっている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、ご家族とよく連絡を取り合い、情報を共有している。ホームとしての看取り方針を作成し、職員とも情報の共有を進めるよう準備している		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーについては、研修会受講も含めて慎重な配慮をしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の流れを優先ではなく、利用者の意向に出来るだけ沿うよう配慮している		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現状は、ホームの職員による食事の盛り付けだけになっているので、検討課題となっている	○	食の大切さを基本として、季節毎に行事の一つとして、利用者と一緒においしい食べ物のメニューを考えてみられたら、如何でしょうか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	職員の習熟を図るためにも消防署とも連帯して連絡、避難経路、誘導方法等も進めて欲しい。なお、近隣自治会との日頃の交流も大切にしてください

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		